

ぶんと通信

第61号

2008年12月15日発行
財)伊賀市文化都市協会

年の暮れ

古里や臍のをに泣としのくれ 松尾芭蕉

早いものでもう師走となりました。そうそう、上野赤坂町の芭蕉生家の前に年の暮れを詠んだ句碑があります。松尾芭蕉は、俳聖とまで呼ばれた俳人ですが、我々伊賀の人は、親しみを込めて芭蕉さんと呼んでいます。

貞享四年の師走、『笈の小文』の旅で芭蕉さんが伊賀上野に帰郷しました。旅寂して見しや浮世の煤払い

これは、名古屋から故郷に帰ろうとしたときの句だそうです。世間の人々は煤払いをしているというのに、旅をしている自分を申し訳なく思っているのでしょうか。煤払いという庶民の生活をひとつの文学にまで仕立て上げました。

古里や臍のをに泣としのくれ
伊賀市上野赤坂町の生家に帰り、兄の半左衛門から自分のへその緒を見せられ、亡き父母の面影を思い出したのでしょうか。「臍」は、「ほぞ」と読まずに「へそ」と読みます。これは、芭蕉さん自らが書いたかな書きが残っています。「へそ」と読んだところにも、庶民の目線で詠んでいたことがうかがわれます。

二日にもぬかりハせじな花の春
久しぶりの帰郷で兄や友人達と遅くまで飲み明かしたのでしょうか。また、このころはずで有名であったので、地元の人達の歓迎に合い盛り上がったのでしょうか。どうも元旦は寝坊したようです。故郷に戻り安心したのでしょうか。二日こそは、日の出を拝もうという意気込みが感じられます。

芭蕉さんの時代と今の時代では、環境も生活様式もまったく違ってきますが、年の暮れとなるとなぜか気忙しくなりますよねえ。昔からの年末年始の行事も少なくなってきた現代、年の移り変わりの風景が無くなっていますが、風情は無くしたくないものです。

(広報事業委員 奥 真也)

ぶんと通信

BUNTO チケット情報

X'mas Acoustic LIVE at Ayama SanSanHall in IGA
~The Iliby Brothers & feel my way~

12/20(土) 好評発売中
開場18:00 開演18:30
1,000円
当日500円増(全席自由)
あやま文化センター

第19回 青山推薦コンサート

2/1(日) 好評発売中
開場13:00 開演13:30
一般1,000円(全席自由)
青山ホール

第3回 さんさんコンサート

2/8(日) 好評発売中
開場13:30 開演14:00
500円(全席自由)
あやま文化センター

第9回能楽鑑賞会

3/7(土) 1/21日発売
開場13:30 開演14:00
一般1,000円 高校生以下500円(全席自由)
ふるさと会館いが

柄本明ひとり芝居「風のセールスマン」

3/14(土) 1/21日発売
開場18:00 開演18:30
一般3,000円 高校生以下1,500円
当日500円増(全席指定)
ふるさと会館いが

第13回 ピアノデュオコンサート

3/29(日) 1/24日発売
開場13:30 開演14:00
1,000円(全席自由)
青山ホール

楽屋インタビュー

キダ・タロー

10月19日(日)伊賀市文化会館におきまして、「大阪シ
ンフォニカー交響楽団 名曲ア・ラ・カルト」を開催しました。
独特の歩き方で現れたナビゲーター役のキダ・タローさん。
ニコニコ顔でインタビューに答えてくださいました。

松永:伊賀の印象はいかがですか。

キダ:初めてここに来たけど、ここは有名な芭蕉さんが誕生し
たということで良い所です。しゃらなあ。

松永:伊賀上野城や伊聖殿と言った名所があります。

キダ:お城は誰が建てたんや?昔からずーっとあるのかなあ?

松永:藤堂高虎が城郭造りに力を入れました。

キダ:藤堂家は今も存在するんか?何万石持ってたんや?(と
歴史に詳しいようで、インタビューどころか質問攻め!)

松永:芭蕉さんや歴史に詳しいですね。歴史がお好きですか?

キダ:好きや!大好きや!ところで、芭蕉の「古池や 蛙飛び
こむ 水の音」の俳句にある『古池』って、まだあるのかな?
行って確かめてきたいな...。(笑)

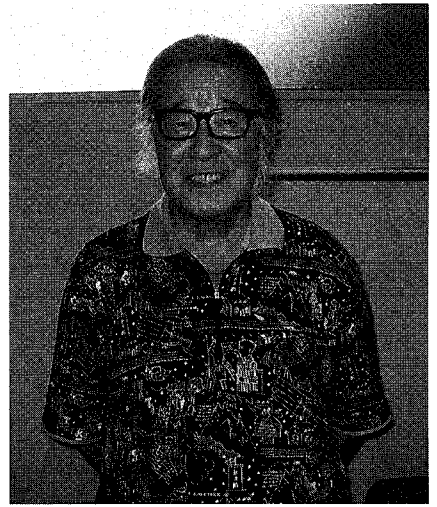
松永:今日は奥様とご一緒でよろしいですね。

奥様:結婚して40年間、車の運転免許を取らせてくれなかつ
たんですよ。40年を返してほしいですね。(笑)

キダ:免許を持ってたら、心配で心配で家で待ってる間、気
が気でなかったんや~。

松永:公演が終
わったら、すぐ帰
られるんですか。

キダ:昨日と今日
と二晩伊賀に泊
まるので、ゆっく
り絵でも描きた
いねん。どこか良
い場所あるか?
女房が絵を描く
のが好きだよっ
てに。(奥様思い
のキダさん!)



歴史が好きで、この伊賀にも興味を持っておられるキダ・
タローさん。折角色々質問して下さったのに勉強不足のため満足な答えが出来なくて、本当に申し訳ありませんでした。

翌日は、どんな絵を描かれてお帰りになられたのでしょうか。

忙しい本番の前に色々お話いただき、笑いの中でのイン
タビュー、本当にありがとうございました。

(広報事業委員 松永啓子)

先取りインタビュー

The Ibery Brothers

来る12月20日(土)あやま文化センターにおきまして、
「X'mas Acoustic LIVE at Ayama SanSanHall in IGA
~The Ibery Brothers & feel my way~」を開催します。
伊賀市出身の彼等にコンサートを前にお話を伺いました。



The Ibery Brothers
山本清人 北田ヒロシ

Q:音楽に興味をも
つたのは何時頃ですか?

A:山本:ものごころ
ついた時にはもう歌
が好きで、その頃の
レパートリーは、演歌、
歌謡曲などでした。

北田:うちが伊賀上
野ケーブルテレビに
加入して、それで
MTVを見た頃から、
本格的にはまってい
きました。

Q:二人の出会いは、
何時頃、どのような
場面でしたか?

A:1999年春、友達から音楽やってるヤツいるからセッション
しないか、と、それで伊賀神戸の駅で初めて会いました。
第一印象は、

山本:赤のポロシャツで短髪、とても爽やかで永島敏行似、セッ
ションしたら楽器をいろいろ使えて「コイツやりよるな」と。

北田:上下黒レザーにグラサン、ロッカーないでたちで、気
後れしつつ、セッションしたら、美声の持ち主でした。

Q:メジャーデビューして周囲の環境等が変化しましたか?

A:中学校以来会っていなかった友達と会うことができたり
して、人との出会いが多くなり、広がったことが嬉しい大き
な変化でした。

Q:恋人はいますか?また、恋に悩む男心を歌にされること
が多いと感じますが、実体験をもとにすることが多いのでし
ょうか?

A:一曲一曲さまざまな作り方があります。フィクション、
ノンフィクション、妄想、願望などなど、時には織り交ぜ
たりもして。詳しくは、ご想像にお任せします。歌詞に込め
られた感情にウソは含まれておりません。

Q:伊賀とはどんな存在でしょうか?

A:山本:愛憎の「憎」の部分がない、不思議なまちです。

北田:大きくなったり、小さくなったり、膨らんだり、縮
んだりする、不思議な故郷です。

Q:今後の夢をお聞かせ下さい。

A:誰かにとって必要な音楽を作ること、より多くの人に届
く音楽を作ることです。

【インタビューの印象から】 現代の「風」の中から生まれて
きたアイボリーブラザーズ。山本清人さんと北田ヒロシさん
はおたがいにセンスを生かしあいながら、これからも人の心
を潤す音楽作りのために、確かな足取りで前進すると思
う。お二人には、「今」をしっかりとつかんで粘り強く頑張
ってほしい。
(広報事業委員 西岡時彦)



筆啓上 ふるさとへ

「伊賀に支えられて」

株式会社日本総合研究所 主任研究員 亀山典子^{つねこ}

私の仕事は、中央省庁や自治体の計画策定、調査などのお手伝い（コンサルティング）をすることです。裏方役であり、あまり表に出る機会はないので、一般の方には馴染みが薄いかも知れません。

そんな仕事に就いて10年。仕事柄、国内はもとより国外にも、とにかくでかけることが多く、必然的に地域のあり方や暮らしについて考える機会も増えます。とりわけ、自治体の計画をお手伝いするときは、少子化と高齢化に加え、人口が減少していく厳しい状況で、中心市街地の活性化や産業振興、地域自治のあり方など、地方特有の課題に直面します。そんな時、ふるさとの伊賀もきっと同じ問題と闘っているに違いない、とインターネットに食い入ると、それぞれのお立場で活躍している方々の姿に触れることができ、とても励みになります。

私は旧伊賀町の出身で、幼少の頃から祖母や両親に連れられ、畑や山にでかけては農作業の手伝いをする機会に恵まれていました。今でも時折、そのときの風景が心に蘇り、のびのびと育ててもらった感謝の気持ちが湧き出てきます。月並みですが、精神的にもふるさに支えられている自分

を実感するときは少なくありません。

仕事などで各地にでかけた時は、PRを兼ねて出身地である「伊賀」の名前を出すようにしています。どこに行っても（海外でさえ）、まず反応があるのが「忍者」という言葉。次いで「芭蕉」「伊賀焼き」という感じでしょうか。最近では議員さんが忍者装束でコスプレ？する「忍者議会」の知名度も上がってきました。お城があって風光明媚なんですよと説明しようとする、必然的に築城を手がけた藤堂高虎のことも知らなければならず、ふるさとの歴史について学ぶ機会ともなっています。

自分の存在とは切っても切れない伊賀。たくさんの方を教えてくれたふるさに、いつか恩返しができるよう、今は研鑽を積む毎日です。



夢ing

『ボランティア』

上野商業高等学校ボランティア部

私たち上野商業高等学校ボランティア部では、「地域との交流」をテーマに、高齢者の方々とふれあいの活動と社会福祉協議会や日本赤十字社の活動への参加などを主な活動としています。

高齢者の方々と活動は、市内で実施されている「いきいきサロン」の一環として、毎月1回は本校を会場に開催している「あやとりの会」、奇数月に諏訪の旧公民館を会場とした「寿の会」をはじめ丸の内の会などを訪れたりしています。ここでは、一緒にゲームをしたり、紙皿・切り絵・ストラップなどの作品を作ったりしながらのふれあい活動をしています。

また、社会福祉協議会の企画した伊賀流ふくし塾などの催しや日本赤十字社の活動にも参加し、「地域」との交流を深めています。

高齢者の方々が楽しんでくださる姿が私たちの活動の支えになり、「こんな関わりが地域の中で大切なのではないかな？」

とあって、私たちも楽しみながら続けています。この活動が長く続けられるよう頑張りたいと思いますので応援よろしくおねがいします。



伊賀のええもん見つけた

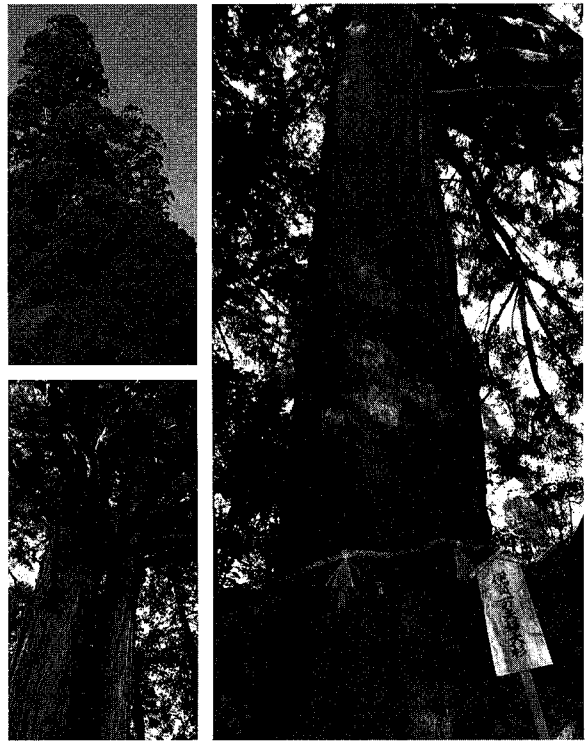
伊賀市の北部に位置する諏訪地区は、周りを山に囲われた隠れ里の雰囲気があります。この地の中心にある諏訪神社は朱雀帝（930～945年）の頃、甲賀三郎兼家が信州諏訪大社より勧請したのが始まりと伝えられており地名の由来にもなっています。

境内入口に立つ杉巨木は推定樹齢400年、樹高46m、幹周り6.2mで地上8mのところまで幹別れしていて、寄り添う姿がまるで夫婦のようです。近年杉は花粉症や保水能力の低下等の原因で評判が悪くなっていますが、古来から建築用材や割り箸、下駄などの日用品にいたるまで用いられ、まっすぐ伸びる美しいその樹形は日本人の心情にあうものです。

少し傾きながら頑張っている「諏訪神社の夫婦杉」ご夫婦で一度訪ねられてはいかがでしょうか。

（広報事業委員 森 正美）

諏訪神社の夫婦杉



文化あれこれ春夏秋冬

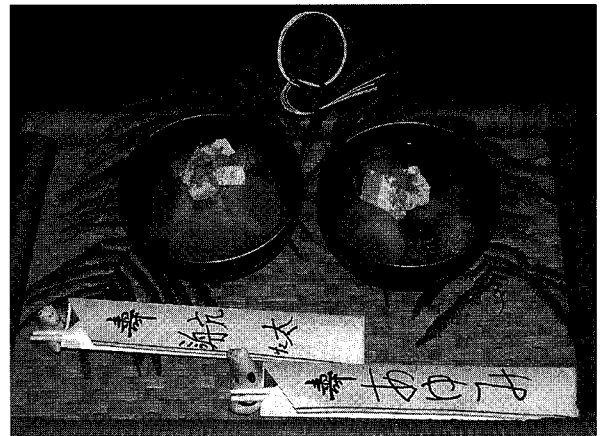
雑煮は、地域によって、家庭によって多種多様なものです。伊賀は米も水も野菜もおいしいので、その多くが里芋や大根など野菜を中心にした雑煮が多いように思います。でも、嫁ぎ先の味とは別に、自分が生まれた家の雑煮が懐かしく、あっさりとした吸い物仕立てにした雑煮も喜ばれる、と。型にこだわる事なく、雑煮が食されるのは嬉しいことですね。

我が家の雑煮は、もち米を蒸したあとの釜に里芋の皮をこそげただけの丸い芋、大根は皮をむかずに輪切りにし、それを煮て濃いめのみそ味にします。三が日の朝だけは食べるのですが、別の鍋に1回分だけ移し水を足しその都度薄めて仕上げます。

大きめの雑煮碗は男の人は中は黒、女の人は赤と少しおしゃれですね。碗の中に里芋と大根、焼いた丸餅、小さく切った豆腐、一番上になぜかきな粉を少しかけます。孫達が、お箸袋に家族の名前を書いてくれるので、「ありがとう」の

特集 伊賀の食文化

「伊賀の雑煮、我が家の雑煮」



一言を添えてからいただきます。雑煮を食べる家も少なくなくて来ていると思うのですが、多分我が家では何十年前から続いている正月の祝い雑煮。これからも自然と静かに同じように作ってくれるだろうと思っています。

来年も良い年でありますように。

（広報事業委員 松永啓子）

こだわり人生乾杯

「人間らしさにこだわる」

劇団上野市民劇場代表 杉森 正美

「あなたのこだわりは？」と聞かれて、「人間を思うままに創りあげること」と答えるしかないようです。今日まで、戯曲(脚本)に描かれた「人間」を演じて、自分ではない、舞台の中の別の人間を作り出す醍醐味に酔い、青春を芝居に明け、芝居に暮れていました。私の青春時代には、演劇が市民権を得ていなかったし、苦労の連続でしたが、明るく住み良い社会を築くという大きな夢がすぐ近くに見えていたようでした。

ところが、見えていた「夢」が、次第に物質文明の中に埋もれてしまい、満ち足りた暮らしに幸せを感じてしまったのです。

居ながらにして何でもみられるインターネット、子供が個室で楽しむ戦争ゲームや殺人ゲーム、車社会、携帯電話話などなど。



人間らしさが無くなって、「生命の尊厳」が遠くに追いやられ、「人間が生み出す文明で人間が減る」時代がくるようです。「人間てすばらしい」と、感動をしてもらえる舞台、生き方に共鳴してもらえる「芝居づくり」が、私の「こだわり」でしょうか。

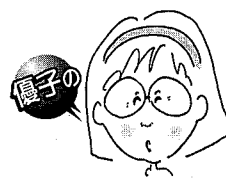
(伊賀市緑ヶ丘南町在住)

或る日、東京のホテルのロビーで、金沢の女性に紹介された。一流老舗の和菓子屋の女主人で、加賀友禅をすっきりと着こなした純日本風の美人であった。年令をきくと、わたしと同年で、たちまち意気投合してしまった。趣味で詩を書いているとかで、自費出版の本を贈ってくれた。二、三編目を落したのみな明るくて夢あふるものばかりだった。ああ、この人は生まれつきの幸福者で、陽の当る場所ばかり歩いてきた女なんだなと、その時のわたしは思った。紹介してくれた人が言った。「優子さん、こ

東京時代は、仕事柄、取材旅行の旅がらすであった。テレビに移行してからは、そうでもないが、小説を書いていた頃は、舞台となる地に一カ月、三カ月逗留して、取材させていただったり、構想を練ったりした。拙作のほとんどは地方が主で、ご当地ソングならぬご当地小説と呼ばれた。物書きのたまごから孵化して少しは全国区で名を知ってもらえるようになった頃だった。

「金沢の女」 ひと

北泉 優子



多情
多感

No.21

の人をモデルに書いてみたら？波乱万丈、生き地獄を乗り越えてきたんですよ」
「ええっ？」と女性を見ると、何ごともなかったように美しく笑い領いた。生き地獄だっけ？まさか、こんな幸せを独占しているような女が……。げせぬままこの日は別れた。別れぎわ、「金沢へいらしてください。待つてますわ」と告げた彼女は、軽く一礼してわたしに向かつて合掌した。

その合掌が琴線にふれた。丁度出版社から書き下ろしの注文もきていた。今度は、金沢の女を、いやこの目の前の人の話を書こうとわたしは決めていた。

二カ月後、わたしは金沢にいた。逗留先は武家屋敷の続く長町の軒。金沢の女を紹介してくれた人の親友宅だった。奇縁というのだろうか、その自宅にもわたし達と同年の娘さんがいて、むろん嫁いでいたが、娘分として、大変良くしていた。いた。和菓子屋の一家とも懇意で、女主人のこともよく知っていた。何とラッキー！と内心手を打った。長町のおばさまの計いで、金沢の女とは二人っきりで会った。店は和菓子処の金沢でも三本の指に入る銘店。正面切って取材させてくれとはちょっと言えなかったのだ。

金沢の女はK子さんといった。K子さんの半生は、その外見からは想像も出来ない苛酷な悲惨なものであった。彼女は、その店の職人の娘。中学を出て、すぐ店員となり店先に立ったという。そして、若旦那であ

った青年に見初められ、17才で、周囲の反対を押し切り結婚した。文字通りの玉の輿だった。

しかし、待つていたのは鬼より恐い姑、当時の女主人で、行儀作法から接客術まで、修業に継ぐ修業で一日中息をつく間もない辛い日が続いた。すぐ側を浅野川が流れている。何度身を投げようとしたか分からなかった。男児を産んだが、二日で乳母にとられた。そして、お定まりの夫の浮気。それに、違法の賭け麻雀が始まった。いつのまにか、店も工場も抵当に入った。ある夜、暴力団風の男が数名乗り込んできた。ふさがあった。

「店は、うちの命。店も乗っ取るなら、うちを殺してからにしてください。さあ、殺さない。その前に、うちはあんたらを殺すがや！」包丁を突きつけられた男たちは逃げた。傍らで腰をぬかしていた姑が、初めてK子に手を合わせた。翌日から、K子は、最中一個の客に對してもありがどうの言葉と一緒に合掌するようになった。

わたしはこの話を小説にはしなかった。K子さんの人生の重さが、浅才の自分には、まだ書けないと思つたのだ。

あれから数十年……。年賀状もとだえてしまったが、彼女は今も元気だ、立派な立派な老主人として生きていくだろう。

金沢へ行きたくなっちゃった……。(作家・市内在住)

参加者募集

ボクササイズ



全身引き締めに効果的!!

【対象者】 高校生以上
【日時】 毎週土曜日のみ・5回講座
受付：19:00 開始：19:30~20:30
第5期：1月17日(土)~2月14日(土)
第6期：2月21日(土)~3月21日(土)
【定員】 各25名
※先着順。定員になり次第締切。
【場所】 上野運動公園体育館 2階
【料金】 2,500円(5回講座)
【指導者】 中上 美代子先生

エアロビクス



音楽に合わせた有酸素運動!

【対象者】 高校生以上
【日時】 毎週月曜日のみ・5回講座
受付：19:00 開始：19:30~20:30
第5期：1月19日(月)~2月16日(月)
第6期：2月23日(月)~3月23日(月)
【定員】 各30名
※先着順。定員になり次第締切。
【場所】 阿山B&G海洋センター
2階トレーニングルーム
【料金】 2,500円(5回講座)
【指導者】 山下 華子先生

Let's YOGA



脂肪のつきにくい“やせ体質”を作ります!

【対象者】 高校生以上
【日時】 毎週木曜日のみ・10回講座
受付：19:00 開始：19:30~20:30
第4期：1月15日(木)~3月19日(木)
【定員】 15名
※先着順。定員になり次第締切。
【場所】 上野運動公園スポーツセンター
1階和室
【料金】 5,000円(10回講座)
【指導者】 中 依伊子先生(パドマ会)

【申込方法】 12月20日(土) 午前9時より電話22-0511で受付します。

特別企画展 上野歴史民俗資料館

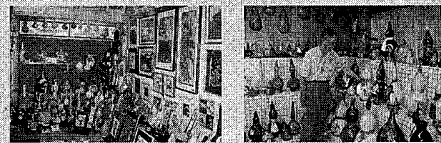
伊賀子ちゃん博物館 展

~伊勢型紙ひょうたん工房 馬場・創作ひょうたんの館~

まちかど博物館は、これまでの「博物館」のイメージにとらわれることなく、コレクションや伝統の技、手仕事などを、仕事場の一角や個人のお宅、店先などで、館長さんの語りとともに見ることができる新しい形の博物館です。

今回は、伊賀に約130館あるまちかど博物館の中から、2館を展示します。

- 開催期間 平成21年1月12日(月・祝)~3月27日(金)
場所 上野歴史民俗資料館(伊賀市上野丸之内116-2)
開館時間 9:00~16:30
参加館 伊勢型紙ひょうたん工房 馬場
創作ひょうたんの館



- 入館料 大人200円 高・大学生150円 小・中学生100円
共催 伊賀まちかど博物館推進委員会

参加者募集 三重県指定有形文化財 入交家住宅特別企画

武家屋敷de たっぷり楽しむ お正月!

みんなが楽しみにしているお正月!江戸時代の武家屋敷で もっとお正月を楽しんじゃおう!

【日時】 平成21年1月4日(日) 13:00~16:00(予定)
【場所】 入交家住宅(伊賀市上野相生町2828)
【料金】 一般300円/中学生以下200円



- 内容 ●新春! 箏と尺八のしらべ(演奏会)
《出演: 邦楽グループ音夢 with 徳井恒盟》
●お正月遊び(福笑い・カルタ・百人一首・BUNTOすごろく等)
●お餅つき大会!
【定員】 40名
※定員になり次第、締め切らせていただきます
【お申込み】 12月23日(祝) 午前9時より電話22-0511にて受付
※1回のお電話につき、1家族または4名までの申込とさせていただきます
※駐車場はございませんのでご了承ください



お問合せ: (財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

参加者募集 タッチ・ザ・スタインウェイ

~世界最高峰のスタインウェイを気軽に弾いてみませんか!~

- ふるさと会館いが (下柘植6243)
平成21年1月18日(日) 10:00~17:00
青山ホール(阿保1411-1)
平成21年2月11日(祝) 10:00~17:00
あやまさんさんホール(川合3370-29)
平成21年3月15日(日) 10:00~17:00
演奏時間 1枠30分 ※おひとり1枠のみ
申込者本人の利用に限ります。
音楽教室等の指導としての利用は出来ません。



- 参加費 500円
ふるさと会館いが・あやまさんさんホールには1台、青山ホールには2台あります。青山ホールに限り、2台のピアノの場合は2人以上1組1時間で1人1,000円(ただし、8手の場合は1人500円)
1枠に3名以上(ただし2台の場合を除く)の使用は不可
募集人数 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切
申込方法 12月7日(日) 午前9時より電話受付
※参加を希望されるホールに直接ご連絡下さい。ただし「あやまさんさんホール」は「ふるさと会館いが」で受付ます。
お申込先 ●ふるさと会館いが TEL 45-9125
●青山ホール TEL 52-1109

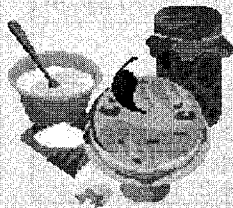
お問合せ: ふるさと会館いが 電話45-9125 / 青山ホール 電話52-1109

Happy Valentine

ちょっぴりあま〜いコンサート

〜パンケーキにパティシェ気分でトッピング！
お好みのパンケーキを召し上がれ!!〜

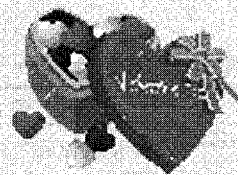
大学生のジャズスウィングバンドによるこの時期になると誰もが聴きたくなる LOVE SONG の演奏と、あま〜いパンケーキにチョコやジャム、バターにフルーツ・・・お好みのトッピングをしてパティシェ気分を味わってみませんか！きっと素敵な時間が過ごせるよ!!



■日 時 平成21年2月11日(水・祝)
14:00開場 14:30開演
■会 場 伊賀市文化会館 ホワイエ
■料 金 500円(定員：約120名)

■チケット発売所 伊賀市文化会館、
ふるさと会館いが、
青山ホール、あやま文化センター
12月20日(土) 発売開始

■出演者 Johnson's Super Band



当協会が管理等を行う施設の年末年始のご利用についてご案内します。

◆次の施設は年末年始に休館日がありますのでご注意ください。

◇12月29日～1月3日まで休業日となる施設

・伊賀市文化会館・ふるさと会館いが、青山ホール・あやま文化センター・阿山ふるさとの森公園・伊賀上野交流研修センター・栄楽館・史跡旧崇廣堂・旧小田小学校本館・城之越遺跡・上野歴史民俗資料館・入交家住宅・阿山ふるさと資料館・三重県立ゆめドームうえの

◇12月28日～1月3日まで休業日となる施設

・阿山B&G海洋センター・大山田B&G海洋センター

◇12月27日～1月5日まで休業日となる施設

・伊賀市立上野図書館

◆次の施設は年末年始(12月29日～1月3日)もご利用できませんが、12月20日の午後5時までに受付を済ませてください。

また、年末年始の受付は休業します。なお、平成21年3月の受付は1月4日からとなります。

・上野運動公園野球場・上野運動公園競技場・上野運動公園スポーツセンター・上野運動公園テニスコート・上野運動公園体育館・伊賀上野武道館・上野緑ヶ丘テニスコート・ゆめが丘テニスコート・鳥ヶ原グラウンド・阿山第一運動公園・阿山第二運動公園・せせらぎ運動公園・いがまちスポーツセンター・青山グラウンド・青山北部公園運動施設

◆次の施設は冬期芝生養生期間を設けていますので、年末年始等は次のように取り扱いますのでご注意ください。

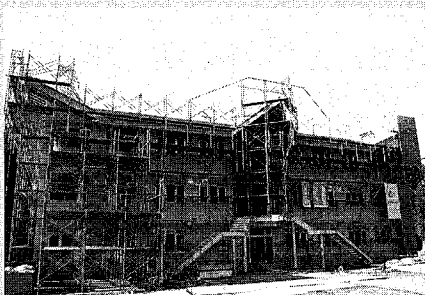
◇施設名 ゆめが丘多目的広場

◇養生期間 1月1日～4月10日は使用できません。

◇使用可能日 12月29日～12月31日

◇受付期間 12月20日午後5時まで

産学官連携共同研究施設情報

「ゆめテクノ伊賀」来春完成に向け
建設工事進む

建設が進む「ゆめテクノ伊賀」
【平成20年12月1日撮影】

当協会が来春4月オープンを目指し、ゆめが丘に建設中の「産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」」の工事は、屋根、外壁工事が完了し、現在、外部仕上、内部下地工事、スロープ擁壁工事などを

施工中で、来年1月からは、内部仕上げ、機器、器具の取り付け、外部の建物周囲や駐車場の外構工事などを行い、2月末には完成、3月には、検査、引き渡しを受ける予定となっています。

この施設が完成しますと、施設本来の目的である産業振興機能だけでなく、市が同地域に誘致を目指していた高等教育機関の一部機能がこの施設内で動き出すこととなり、将来に向け大きな展望が開かれることとなります。

施設の利用は、大きく三つの形態を想定しており、その一つ目は、先に書いたとおり地域産業の振興を目指し大学などの高等教育機関と企業等が共同して研究を行う施設としての利用形態。(具体的には、1階と3階の研究室7室と同階にある研究者・利用者のための執務室、1階の低温室、照明室、

グリーンハウスなどです。)

二つ目は、大学などの支援のもと、将来の地域産業を支える児童生徒や若者を対象とした研修施設としての利用形態。(具体的には、2階の講習室(分析機能を持っています)、3階のテクノルーム(90名収容の研修ホールで、2つに仕切ると30名程度の研修室になります。))などです。

三つ目は、起業を目指す人や会社が、創造センターに配置予定のインキュベーション・マネージャーや大学などの支援を受けながら起業の具体化を図るための施設としての利用形態。(具体的には、2階のインキュベーション室5室。11月に入居者を募集し、現在、市において入居審査中です。)

その他、これらの機能を効率的に連携利用するための施設として2階と3階に談話室(サロンとしての機能も有します。)、2階に事務室を設けるほか、それぞれの施設の利用目的を固定することなく、例えば、テクノルームは、地域産業の振興のための会合やセミナーなどの会場としての利用も想定することとしています。

【詳細についてのお問い合わせは】

※共同研究に関すること

三重大学伊賀研究拠点 現地準備事務局

伊賀市上友生785 伊賀市教育センター内 TEL 48-5583

※インキュベーション室入居に関すること

伊賀市役所産業振興部商工観光課企業支援係

伊賀市上野丸之内116 TEL 22-9672

財団法人伊賀市文化都市協会 産学官連携伊賀研究拠点準備室

伊賀市西明寺3240-2 伊賀市文化会館内 TEL 22-0511

お問合せ：(財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

ホール・ドーム **これから** 情報

あやま文化センター 伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
12/20土 18:30~	X'mas Acoustic LIVE	前売1,000円 当日1,500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館いが)
12/21日 13:15~	みんなのこんさあと	無料	池田 ☎43-1543
1/25日 9:20~	あやま芸能交流会	無料	あやま芸能交流会実行委員会 ☎43-0154 (阿山公民館) 共催: 阿山公民館/あやま文化協会
2/8日 14:00~	さんざんコンサート	500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館いが)

伊賀市文化会館 伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
12/21日 14:00~	伊賀シンフォニックアカデミー吹奏楽団 第42回定期演奏会	一般 1,000円 高校生以下 500円	伊賀シンフォニックアカデミー吹奏楽団 ☎36-2852 (川崎)
12/23(火)祝 18:30~	~天使のハーモニー~ ハンドベル クリスマスコンサート in ホワイエ	一般 500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
1/11日 13:30~	平成21年成人式	無料	伊賀市教育委員会生涯学習課 ☎22-9679
1/12(月)祝 10:00~	KUMON伊賀地区合同表彰式	関係者	公文式教室伊賀地区自主研ささゆり ☎059-225-5518 (日本公文書検定協会伊賀支部)
1/13(火) 13:00~	会員のつどい	無料 (会員)	三重県年金受給者協会 ☎059-246-7300

ゆめドームうえの 伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
1/4日 8:00~	第5回新居招待フットサル大会	第1、第2	新居サッカースポーツ少年団 ☎24-4639 (中川)
1/5(月) 1/6(火) 8:00~	伊賀ウインターカップ 兼 マツヤマススポーツ杯	第1、第2	伊賀市バレーボール協会中学生の部 ☎21-0182 (桃青中学校 杉森)
1/11日 9:00~	伊賀市ソフトバレーボール大会 伊賀市長杯	第1	伊賀市ソフトバレーボール連盟 ☎23-5865 (竹腰)
1/17(土) 9:00~	伊賀市小学生バレーボール大会新入戦	第1、第2	伊賀市小学生バレーボール連絡協議会 ☎21-5748 (生中)
2/1日 9:00~	第49回伊賀地区駅伝競走大会	第1、第2	伊賀地区駅伝競走実行委員会 ☎22-9680 (伊賀市教育委員会スポーツ振興課)

ふるさと会館いが 伊賀市下柘植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
1/17(土) 13:30~	第4回伊賀市教育市民集会	大ホール	無料	伊賀市の教育を考える会 ☎21-1707 (伊賀市教育委員会)
1/18日 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	大ホール	参加費500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館いが)
1/25日 12:00~	輝け いが! 愛あいチャリティー	大ホール	無料	伊賀市更生保護女性の会 ☎52-1453 (魚住)
1/31(土) 13:00~	いきいき未来2009	大ホール	無料	伊賀市男女共同参画課 ☎22-9632
2/7(土) 2/8日 13:00予定	精神障害者地域移行支援事業 7日「ふるさとをください」上映会 8日 啓蒙講話「ケラハリスモルを創りて」	大ホール	無料	伊賀市社会福祉協議会 ☎21-5866 (寺田)

伊賀びと川柳

かた焼きをなめて楽しむ日向ぼこ
福沢 義男

伊賀焼で飲めばなんだか元氣出る
藤井加代子

伊賀米の味にこだわる人となり
賀 柳

帰り来て伊賀線に乗りあしんど
高橋せつ子

オオキニトと言って言われる年の暮れ
カタヤキをたいたいてにじむ伊賀の味
井ノ上揮男

★しぐれでも笠を片手の芭蕉さん

井ノ上揮男

次号の締切は1月15日です。投稿いただいた方の中から★印の方に「柄本明ひとり芝居」のチケットをペアでプレゼントします。伊賀にちなんだ川柳氏名住所・年齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をハガキ・FAX・Eメールで下記までお願いします。

青山ホール 伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
12/23(火)祝 13:00~	ピアノ発表会	無料	塚下由美子 ☎68-3466
1/12(月)祝 13:30~	2009 BLUE ECHO 新春歌謡コンサート	1000円 (会費)	青山文化サークル連絡協議会 ☎52-1453 (魚住)
2/1日 13:30~	第19回青山推薦コンサート	1000円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109 (青山ホール)
2/11(水)祝 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109 (青山ホール)

第3回集まれグラウンドゴルフ仲間「BUNTO杯」

去る、11月20日寒空の中、第3回集まれグラウンドゴルフ仲間「BUNTO杯」が開催されました。今年は869名の参加者により、優勝目指して競技を楽しんでいただきました。結果は下記のとおりです。(敬称略)

本大会の運営に際し、ご協力いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。

第3回集まれグラウンドゴルフ仲間「BUNTO杯」結果 (上位3位まで)

	Aブロック男子	Aブロック女子	Bブロック男子	Bブロック女子
優勝	岡本 武 (下友田)	田村美津江 (東京都)	西岡 強 (忍町)	武田ふみ子 (府中)
準優勝	中嶋 永博 (京都八幡)	西田 洋子 (中瀬)	福森 俊雄 (三田)	宮川 照子 (府中)
第3位	山出 明一 (新居)	後藤 照子 (桑名)	三山 啓一 (長田)	藤森百合子 (桑町)

編集部だより

いろいろな分野で節目の年となった平成20年(2008年)ももう残りわずか。恒例となりました第4回「伊賀学検定」のスケジュールもようやく決定し、年明けから受付がはじまります。

折しも、百年に一度の未曾有の大不況とのこと。そして、内外でリーダーの交替も行われた年でした。

おそらく正しい歴史認識と文化の理解なしにはどこの国家の、地域の、団体のマネージメントもできないものと思われれます。また、大きく飛躍する前に深くしゃがみ込むのはものごとのことわりで、準備が整ってさえいれば、これだけ落ち込んだ後なら明るい明日は目前がもしれません。

来年は、いろいろな局面で経済力はもとより地域の文化力とその生かし方が問われる年になりそうです。皆様のさらなるご支援、ご指導宜しくお願ひ申し上げます。

(広報事業委員 菊野善久)

お問い合わせ

(財)伊賀市文化都市協会

☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2

TEL.0595-22-0511

FAX.0595-22-0512

Eメール samazama@bunto.com